

2010年9月期 決算説明会

2010年11月30日

代表取締役社長 廣谷 彰彦



プレゼンテーション・アウトライン

本日のポイント

- I： 私たち、ACKグループのご紹介
- II： 2010年9月期 業績ハイライト
- III： 2011年9月期 業績目標値
- IV： 今後の展開 ―「ACKG2010※」の推進―
- V： 質疑応答

※2009年10月(当期)スタートの中長期経営戦略

APPENDICES

- ー主要トピックス
- ー連結決算詳細

本日のポイント

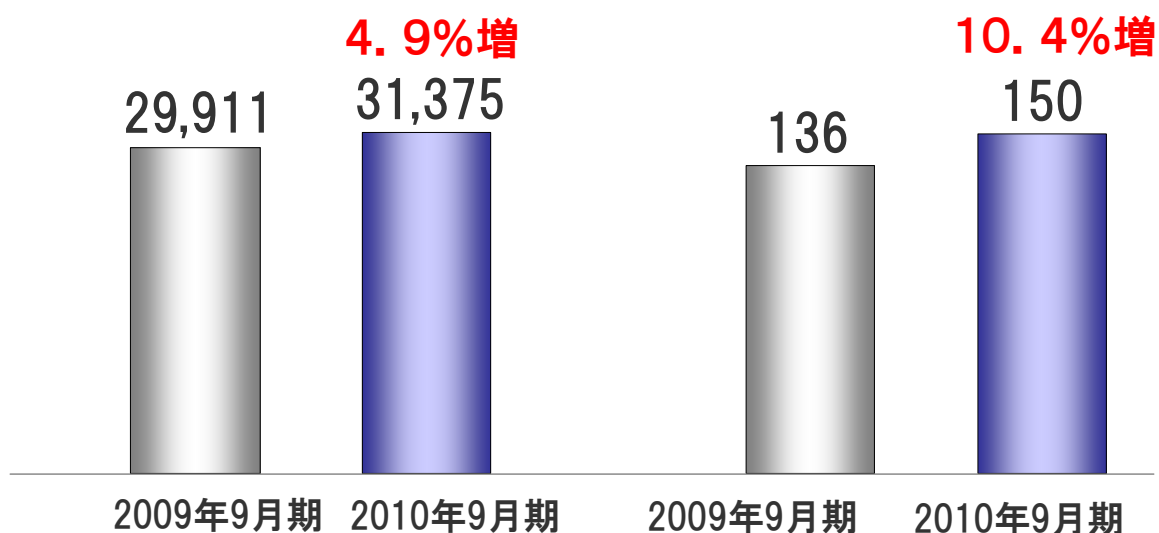
1

増収・増益(対前期比)を実現

■売上高

■純利益

単位:百万円



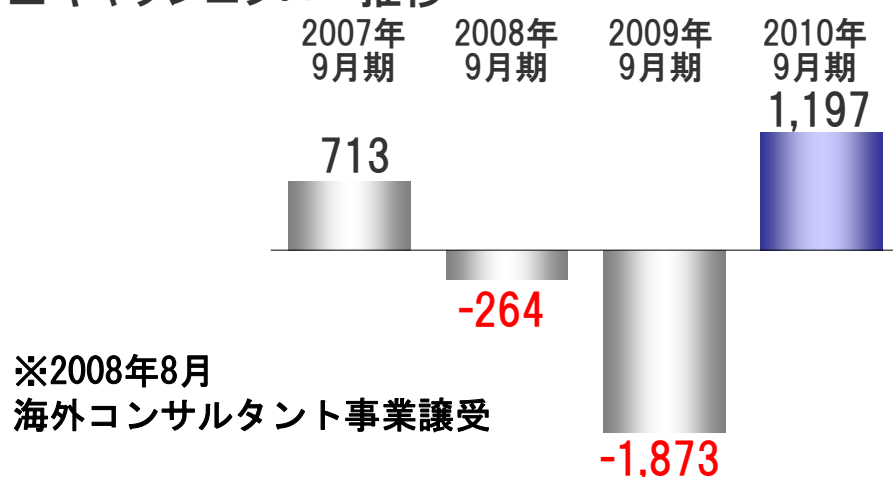
本日のポイント

2

営業キャッシュフローが黒字基調

■キャッシュフロー推移

単位:百万円



- 2008年9月期及び2009年9月期は、海外コンサルタント事業の運転資金の増加により赤字化
- 2010年9月期(当期)はそれらが解消し、黒字基調へ

本日のポイント

3

ACK G2010※の着実な実現

－ 3軸構想の推進で、分野・顧客の拡大を着実に図ります －

海外

政府の海外投資におけるシェア拡大による受注強化

国内
公共

官民連携分野※の受注強化

※PFI・PPP等、民間資金・ノウハウの公共への活用分野

国内
民間

プロジェクト マネジメント コンサルティング (PMC) サービスの推進

※2009年10月(当期)スタートの中長期経営戦略

I : 私たち、ACKグループのご紹介



ACKグループとは？

■私たちACKグループは、
社会を豊かにする、コンサルティングサービスを提供します。

ACKグループは、
「知:Knowledge」を追求し、
「前進し続ける:Advancing」ことを目指す
「コンサルタント:Consulting」集団である。
また、ACKグループの求める「知」は、
「活動的な知:Active Knowledge」
でありたいと考えている。

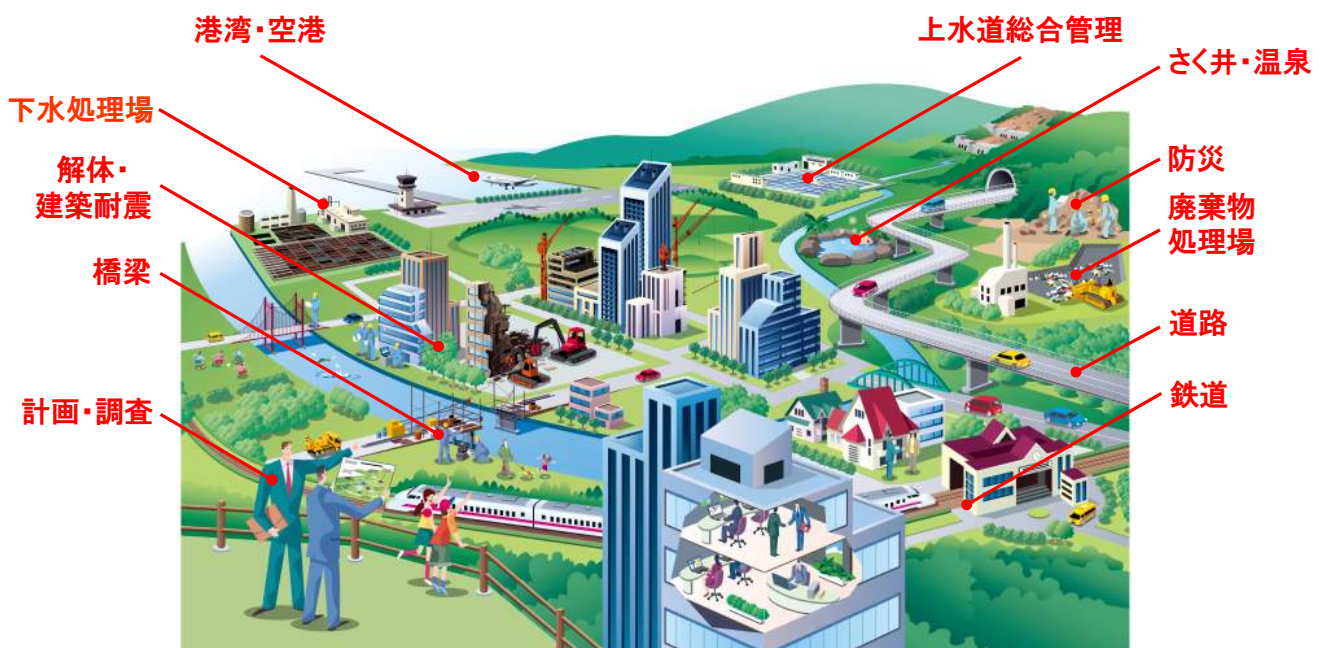
【ロゴマークの意味】

「知」を核とし、決まった型にはまらず、
時代の変化に応じて、自由に業容を変えながら仲間を募り広がっていく。



ACKグループの対象事業

■インフラ・社会資本整備に関する事業へのサービス提供



ACKグループが対象とする事業の例

ACKグループの対象事業

■環境・エネルギーに関する事業へのサービス提供



ACKグループが対象とする事業の例

ACKグループのサービス内容

■様々な事業に対し、コンサルティング※を行います。

※専門知識・技術により、問題の発見・解決策の提案・改善の補助/推進、戦略への提言などを行う

コーディネート



プランニング
・デザイン



プロデュース



マネジメント
・O&M



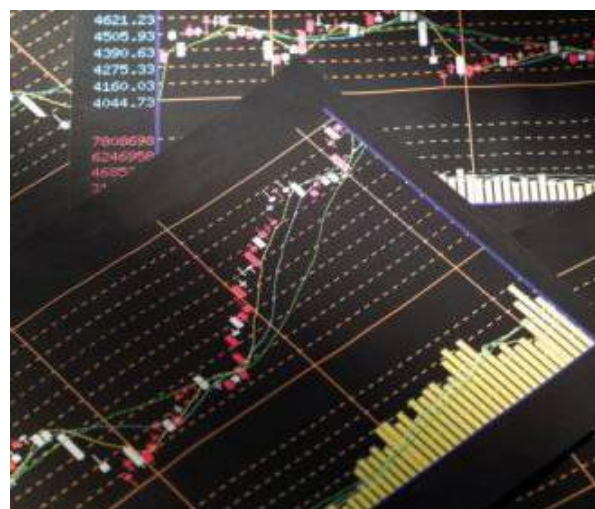
ACKグループが行うコンサルティングサービスのイメージ

ACKグループの顧客

■事業を行う様々な機関・企業が私達のお客様です。

海外	・独立行政法人国際協力機構（JICA） ・本邦民間企業（商社/メーカー等）、海外の政府/企業 等
国内 公共	・中央省庁、都道府県、市町村 ・大学、公的研究機関 等
国内 民間	・公益法人（電力、ガス、通信、鉄道） ・法人（商社/不動産/機械メーカー/プラント/ゼネコン） ・個人事業主 等

Ⅱ：2010年9月期 業績ハイライト



売上高について

■売上高は増加。前期比4.9%増。

✓前期 29,911百万円 ⇒ 当期 31,375百万円 **4.9%増**

	(百万円)			
	前期 (2009/9)	当期 (2010/9)	増減	期首計画値
売上高	29,911	31,375	↑+1,463	32,000

受注高について

■受注高は増加。前期比18.3%増。

✓前期 28,209百万円 ⇒ 当期 33,380百万円 **18.3%増**
 ✓海外軸の受注好調

	(百万円)			
	前期 (2009/9)	当期 (2010/9)	増減	期首計画値
受注高	28,209	33,380	↑+5,170	—
受注残高 [※]	23,999	26,004	↑+2,005	—

※受注済で生産中の契約総額

損益(利益)について

■営業利益、経常利益は減益、純利益は増益 (対前期比)

- ✓退職給付会計処理の変更および棚卸資産の減損処理を主な要因として営業利益が減益
- ✓税効果会計による税金費用の軽減を主な要因として純利益が増益

(百万円)

	前期 (2009/9)	当期 (2010/9)	増減	期首計画値
営業利益	568	471	▲96	570
経常利益	466	455	▲11	470
当期純利益	136	150	↑ +14	150

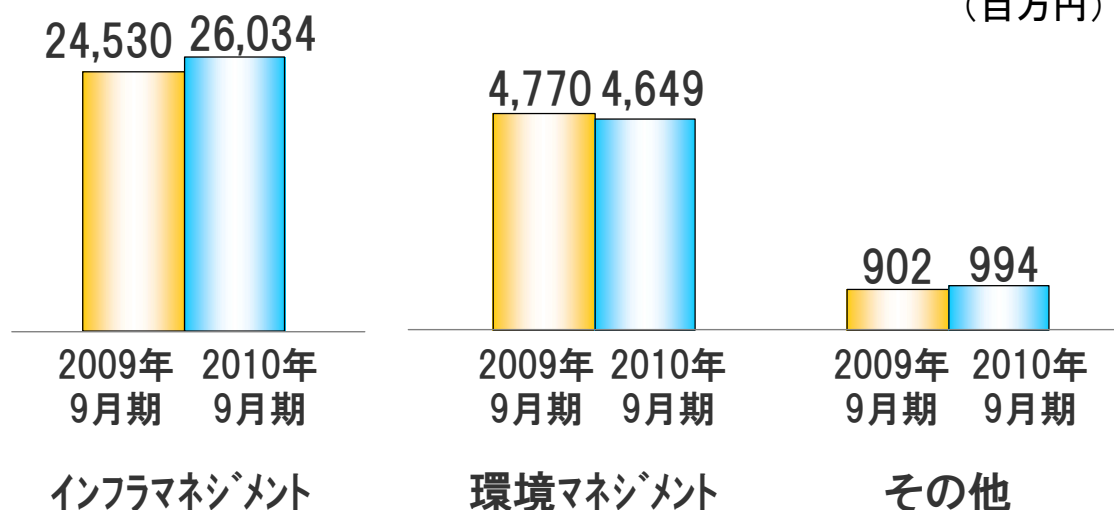
セグメント別売上高について

■売上高はインフラマネジメント事業およびその他の事業で増収

- ✓海外軸の受注増の影響により、インフラマネジメント事業で増収

■売上高

(百万円)

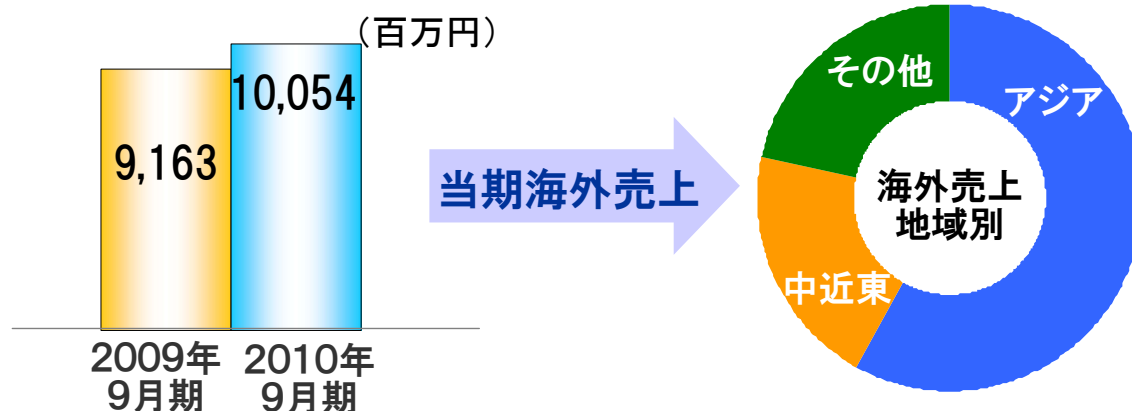


海外売上高・地域構成について

■海外売上高※は、対前期比891百万円(10%)増

※業務の対象国が海外地域である国内売上高を海外売上高に含めた場合の数値

✓地域別の売上高ではアジア地域を中心に売上増加



■業務進行中の国々

アジア ベトナム、インド、インドネシア を含め、18カ国

中近東 トルコ、カタール、ヨルダン を含め、10カ国

その他 ルーマニア、マケドニア、アルジェリア を含め10カ国

貸借対照表(B/S)

■借入債務を圧縮し、自己資本比率は改善

✓資産は現預金の圧縮、減価償却の進行により減少

✓負債は売上代金の回収による借入債務の圧縮により減少

(百万円)

	前期 (2009/9)	当期 (2010/9)	増減
資産合計	19,353	18,548	▲805 (▲4.2%)
負債合計	13,078	12,146	▲932 (▲7.1%)
純資産合計	6,275	6,401	↑ +126 (+2.0%)
負債・純資産 合計	19,353	18,548	▲805 (▲4.2%)

Ⅲ：2011年9月期 業績目標値



2011年9月期の市場感

海外

- ・ アジア諸国を中心にインフラ整備需要は高く、政府による海外へのインフラ輸出等の増加

国内 公共

- ・ 公共事業費の削減
- ・ PFI・PPP等、インフラ整備や維持管理への民間資金・ノウハウ活用の推進策の増加

国内 民間

- ・ 住宅投資の持ち直しやスマートシティへの転換等、環境・エネルギーを中心とした市場が拡大基調。

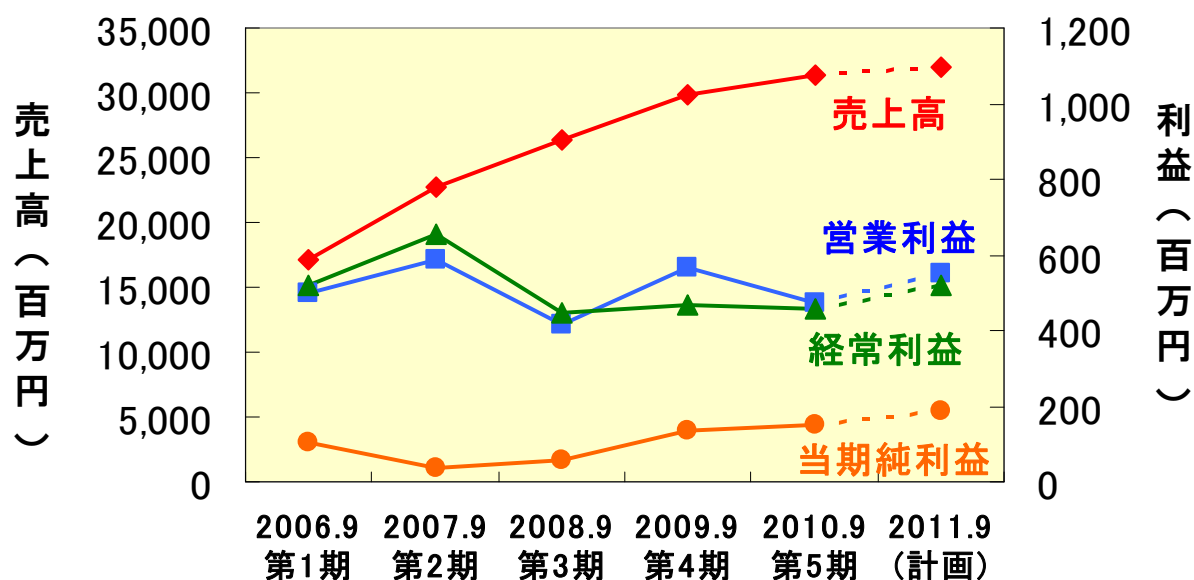
2011年9月期通期業績見通し

- 民間事業の受注を強化
 - 付加価値拡大とコスト削減を推進
- ⇒ 売上高拡大
⇒ 利益率向上

	(百万円)		
	2010/9月期 通期実績値	2011/9月期 通期計画値	増減
売上高	31,375	32,000	↑ + 2.0%
営業利益	471	550	↑ +16.7%
経常利益	455	520	↑ +14.2%
当期純利益	150	185	↑ +22.8%

通期業績の推移

- 売上高 : 6期連続の増収
- 利益 : 利益率向上が最重要課題

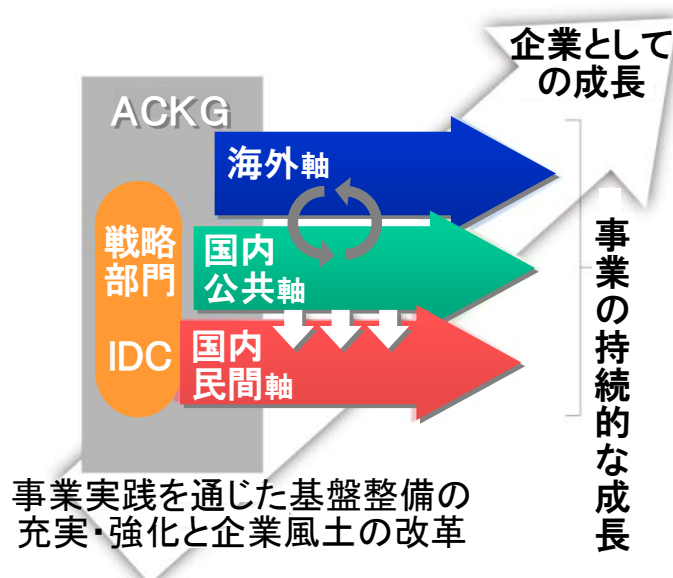


Ⅳ：今後の展開 —「ACKG2010」の推進—



ACKグループが目指すもの ～ACKG2010の推進～

**3軸の連携と起爆剤となる事業戦略センター※により
持続的な成長を果たせる企業へ進化**



※IDC (Innovative Development Center) : 2009年10月 (当期) 創設の組織

地球規模での課題解決にチャレンジ ～ACKG2010の推進～

「メタナショナル※企業」を目指す

国内外の「知」を結集、新たな形を創出し、世界の地域ごとに展開する専門家集団

知の感知

世界に散らばっている「知」を先見的に感知し、入手する

知の融合

入手した「知」を融合させ、新たなものを創出する

知の展開

各地の特性をふまえ、展開する



※メタナショナルとは

世界の地政学的な側面や風土、人種などの特性を踏まえ、世界各地の優秀な能力をオーケストラのように融合し、各国の特性に最も適するものを提供する概念

海外軸の展開 ～ACKG2010の推進～

海外

- 1 政府の海外投資に対するシェア拡大による受注強化
- 2 人材確保などの生産体制の強化



ベトナム・ハノイ市環状3号線道路2010/10/9開通

重点施策を推進

- 即戦力となる人材確保
- 海外の人材を活用することも視野に入れた生産体制強化

主な会社

・オリエンタルコンサルタンツGC事業本部

海外軸の展開

～ACKG2010の推進～

海外

前期実績

国家プロジェクトへの参画(ベトナム・ハノイ市の環状道路)

- 15年間に亘り、マスタープラン、FSから設計・施工監理までプロジェクトをマネジメントしてきたハノイ市環状3号線道路の一部が開通。

最新の環境技術を提供 (ニカラグア国クリーン開発メカニズム [CDM]プロジェクト専門家派遣)

- CDMに関する講義、現地語マニュアルの作成等の技術支援を実施
- 国内外で環境を軸とした技術の連携に期待

開発途上国の経済発展に寄与するプロジェクト実施 (デリーメトロ工事現場)

- デリーメトロ工事現場で、現地作業員へのセーフティトレーニング等実施
- 弊社女性社員の現場での活躍が新聞・TV等マスメディアで報道

国内公共軸の展開

～ACKG2010の推進～

国内公共

1 官民連携分野※1の受注強化

2 政策コンサルタントサービス※2の推進

- ※1 PFI・PPP等、民間資金・ノウハウの公共への活用分野
 ※2 政策立案や分析等を行うコンサルタントサービス



国営アルプスあづみの公園(包括管理実施中)

重点施策を推進

- PPP、包括管理などへの展開
- プロポーザル受注の拡充
- 上下水道ホームドクター地域拡大
- センシング技術・解析技術

主な会社

- ・オリエンタルコンサルタンツ
SC事業本部、総合マネジメント事業部
- ・エイテック
- ・中央設計技術研究所
- ・吉井システムリサーチ

国内公共軸の展開

～ACKG2010の推進～

国内公共

前期実績

総合マネジメント事業の実施

- オリエンタルコンサルタンツに「総合マネジメント事業部」を創設し、事業開発・新規事業開拓をより一層推進・強化
- 国営公園、道の駅の包括管理、緑の分権改革事業への参画等

保全・長寿命化に関する業務を拡大

- 公園施設の老朽化に対する安全で効率的な改築・更新を提案
- マンホールの耐震補強設計で高い技術が評価され、新聞に掲載

ACKグループ研究開発を最大限に活用

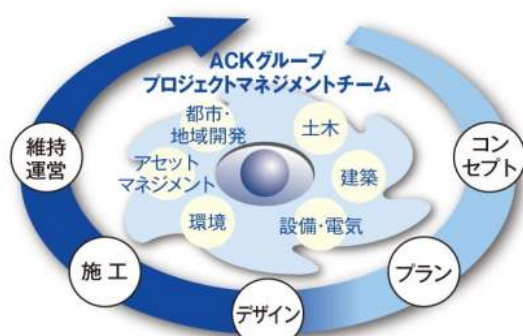
- 現場調査では開発したスマートフォン点検システムを活用
- 同じく可搬型の交通量計測装置が高速道路無料化に関する調査や全国道路・街路情勢調査での需要の高まりから販売が好調

国内民間軸の展開

～ACKG2010の推進～

国内民間

- 1 環境・エネルギー分野における受注を強化
- 2 プロジェクト マネジメント コンサルティング(PMC)サービスの推進
- 3 差別化技術の構築



PMCサービスのイメージ
～企画から維持管理まで～

重点施策を推進

- ESCO事業、小水力発電
- 民間再開発案件
- 大深度地下技術(No. 1技術)

主な会社

- ・大成基礎設計
- ・アサノ建工
- ・オリエスシェアードサービス

国内民間軸の展開

～ACKG2010の推進～

国内民間

前期実績

エネルギー・コスト削減の水ESCO事業推進

- 井戸水を水源とした自家水道システムを納入、約50%のコスト削減
- 省エネルギーを軸にグループ内JV等、拡大に期待

PMCサービスで民間ワンストップを推進

- 民間企業所有地の災害リスクに対する管理手法や対策工のコンサルティングを実施
- 対策工は、調査から施工までワンストップでサービスを提供

世界トップクラスの差別化技術を開発

- 保有する特殊技術(大深度計測+光ファイバ計測)を組み合わせ、世界トップクラスの性能の地盤観測システムを受託開発

新規事業軸の展開

～ACKG2010の推進～

戦略部門（事業戦略センター）

1 グループ会社の新規事業化の支援・リード

2 営業企画室の一体化による受注拡大

■前期の活動実績

- 異分野より採用、人員体制を整備
- 将来を先見した 新規事業創出・技術開発
 - ・ビルリノベーション・環境不動産（大成基礎、アサノ建工、エイテック）
 - ・IT新規事業、スマートフォン活用など（吉井システムリサーチ、オリエスシェアード）
- 新規事業・既往技術活用に対するアイデア募集
 - ・グループ全社から約100の案
 - ・「観光」「農業」をテーマに事業化の検討開始



メタナショナル企業への進化・実践

～ACKG2010の推進～

約2年前にグループに参入した 海外コンサルタント部門※を中心にシナジーを発揮

※オリエンタルコンサルタンツGC事業本部



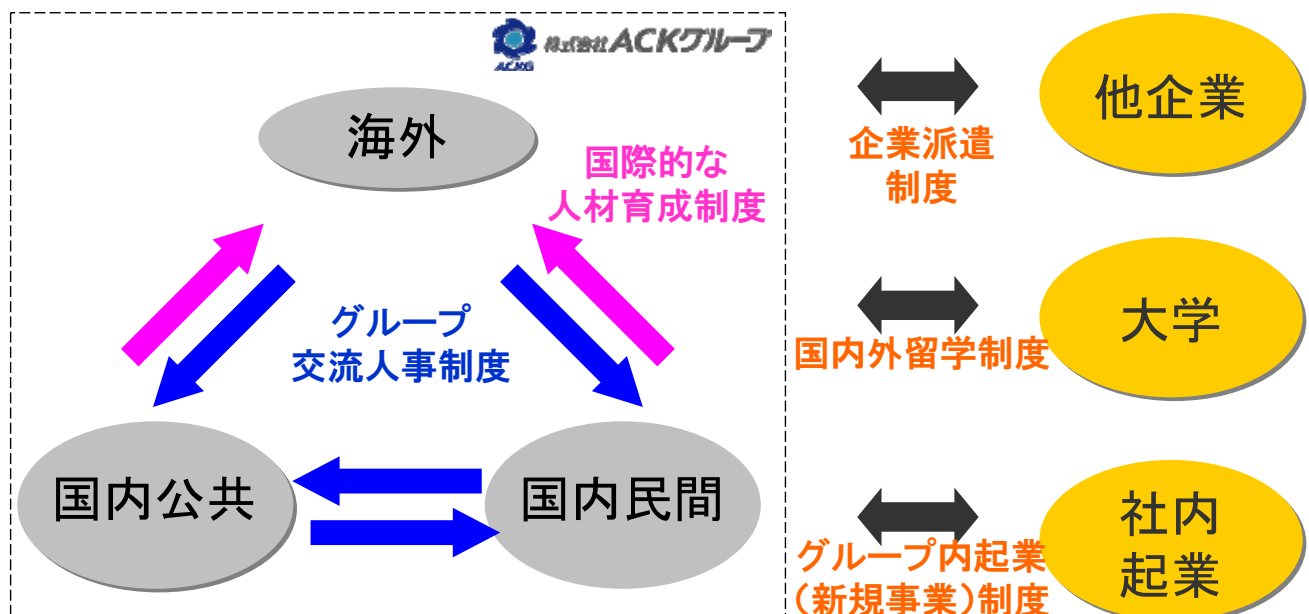
- ・人材育成 : 若手社員がプロジェクトに参画(9名)
- ・業務支援 : 技術社員がプロジェクトに参画(16名)
- ・大成基礎設計、中央設計技術研究所、海外営業を支援

⇒JICAより海外業務を初受注

人材育成・活用を強化

～ACKG2010の推進～

最重要経営資源である 「人材」の育成および活用を強化・推進



感じてますか 未来の鼓動

中長期経営戦略ACKG2010の確実な実践により
『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を目指し、
今の業容にとらわれずサービス領域無限大へ
今後もチャレンジし続けます！



本資料および本説明会の説明には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

V：質疑応答



APPENDICES

ーグループ経営についてー



グループ会社の変遷(グループ経営の効率化)

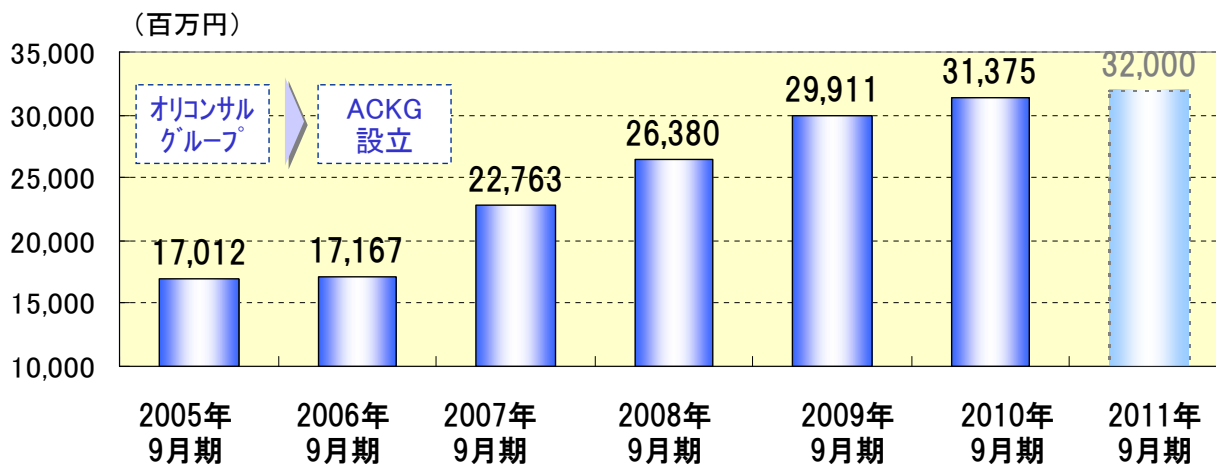


グループ会社の変遷(グループ展開による業容拡大)

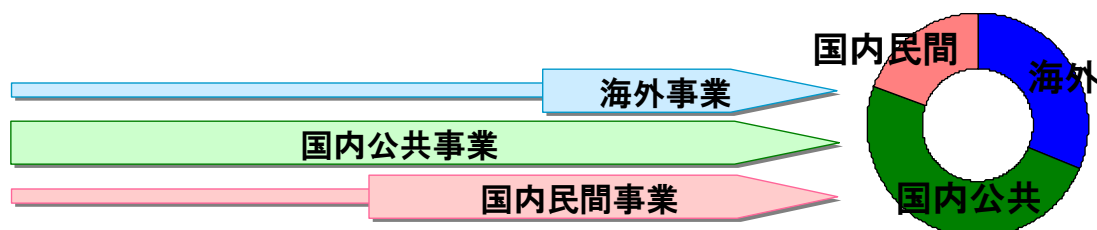
売上高

ワンストップサービス企業

メタナショナル企業へ



業容拡大



事業会社の紹介

事業会社	業務内容
 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ ORCONSUL	デザインソリューション、国土基盤、都市地域、交通、環境、防災、グローバルコンサルティングなど
 大成基礎設計株式会社	地質・土質調査、環境調査・浄化、構造物調査など及び廃棄物処理、リサイクル、エネルギー、水理解析など
 株式会社 Sf 中央設計技術研究所	上下水道、廃棄物、環境、情報に関する調査・計画・設計・維持・運営など
 株式会社 エイテック	建設に関する調査・設計・監理、CM/PM、交通関連業務、測量、写真測量、GIS、補償コンサルタントなど
 株式会社 アサノ建工	水資源関連工事、地質・土壌調査、解体工事、温泉工事、水道・小水力発電など
 吉井システムリサーチ 株式会社 YoshiiSystemResearch.co.,ltd.	システム開発、パッケージソフトウェア販売、ITサービスなど
 株式会社 オリエスシェアードサービス ORIES SS	間接部門業務支援、ITサポート、人材マネジメント、人材派遣など

APPENDICES

一連結決算詳細一



連結貸借対照表

(単位:百万円)	前期		当期		増減額	
流動資産	13,263	(68.5%)	13,103	(70.6%)	▲160	・現預金残高の圧縮 ・固定資産の減価償却
固定資産	6,090	(31.5%)	5,445	(29.4%)	▲645	
資産合計	19,353	(100.0%)	18,548	(100.0%)	▲805	
流動負債	10,958	(56.6%)	9,971	(53.8%)	▲986	
固定負債	2,120	(11.0%)	2,175	(11.7%)	54	・売上代金の回収等による借入金の減少
負債合計	13,078	(67.6%)	12,146	(65.5%)	▲932	
資本金	503	(2.6%)	503	(2.7%)	—	
資本剰余金	748	(3.9%)	748	(4.0%)	—	
利益剰余金	4,893	(25.3%)	5,003	(27.0%)	109	・利益剰余金増加
少数株主持分	329	(1.7%)	334	(1.8%)	5	
純資産合計	6,275	(32.4%)	6,401	(34.5%)	126	
負債・純資産合計	19,353	(100.0%)	18,548	(100.0%)	▲805	

※前期: '09/09期 当期: '10/09期

連結損益計算書

	前期		当期		増減額	(百万円)
売上高	29,911	(100.0%)	31,375	(100.0%)	1,463	・海外の売上好調 ・退職給付引当金の会計処理変更 ・不良在庫の減損処理 ・国内の価格競争の激化
売上原価	21,940	(73.4%)	23,683	(75.5%)	1,742	
販売費・一般管理費	7,402	(24.7%)	7,219	(23.0%)	▲182	
営業利益	568	(1.9%)	471	(1.5%)	▲96	
経常利益	466	(1.6%)	455	(1.5%)	▲11	・海外の受注好調
当期純利益	136	(0.5%)	150	(0.5%)	14	
受注高	28,209	----	33,380	----	5,170	

連結キャッシュ・フロー計算書

	(百万円)			
	前期	当期	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	▲1,873	1,197	3,071	・海外分野での売上債権回収 ・海外分野での前受金(未成業務受入金)の入金状況改善
投資活動による キャッシュフロー	▲531	▲174	357	
財務活動による キャッシュフロー	3,118	▲1,407	▲4,526	・主に借入金の返済
現金及び現金同等物 の期末残高	1,776	1,337	▲439	

指標関係(連結)

	単位	前期	当期
1株当たり当期純利益(EPS)	(円)	24.83	27.41
自己資本比率	(%)	30.7	32.7
自己資本純利益率(ROE)	(%)	2.3	2.5
総資産経常利益率(ROA)	(%)	2.5	2.4
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.24	0.26

お問い合わせ先



JASDAQ
銘柄略称: ACKG
証券コード: 2498

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)

問合せ 統括管理本部 重松 伸也

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

本日は弊社決算説明会に
ご参加いただきましてありがとうございました